

地域連携協働NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

文部科学省『コミュニティ・スクールのつくり方』よりCS(コミュニティ・スクール)について説明します

“熟議(熟慮と議論)”でより多くの方の意見を取り上げましょう

「熟議」とは、よりよい集団(学校)生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的・実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうとするものです。その具体的なポイントは…。

【熟議のポイント】

1. 多くの当事者(保護者・教員・地域住民等)が集まって、
2. 課題について学習・熟慮し、議論することを通して、
3. 互いお立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
5. 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる。



【熟議のテーマ例】

子供たちにどう育ててほしいか	学校と地域と一緒にやれることは
子供たちの学力を向上させるには	地域の力をどう教育に生かすか
あいさつ日本一の町を目指すために	学校と地域の合同運動会について
郷土学習で子供たちに何を伝えるか	統合する学校の子供たちにできること
「いじめ」をなくすには	携帯電話の取り扱いについて
下校時の安全をどう確保するか	地域に貢献できることは何か

【熟議の展開例(約60分)】

- | | | |
|---------------|-----|-------------------------|
| ①オリエンテーション | 5分 | なぜ、熟議開催に至ったかを確認する |
| ②テーマに関わる資料の共有 | 10分 | テーマについての知識や背景を共有する |
| ③熟議 [前半] | 20分 | 自己紹介→意見(思い)をたくさん出す(付箋紙) |
| ④熟議 [後半] | 15分 | 前半で出た意見について、方向性を持って話し合う |
| ⑤グループごとの発表 | 5分 | 各グループ1分程度でまとめ、全体で発表する |
| ⑥終わりのあいさつ | 5分 | 今後の話し合いの場について提案する |

提案されたプランを課題解決や目標達成に向けた具体的な取組につなぎます。

この「熟議」を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で…

【協働の体制】

学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが大切です。

【マネジメント力】

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、めざすビジョンの達成に向けて校内の組織運営を管理するだけでなく、「地域との関係を構築」し、「地域人材や資源」を生かした学校運営を行う力がが必要です。



【桧沢小 だんござし】H30.1.10